

さくらマネー通信 No.63

2022年
10月号

～気軽に読めて役に立つマネー情報をお届けします！～

特集 非課税で子や孫に住宅資金を贈与する際の注意点！

親子間でも大金を贈与してしまうと贈与税の対象になります。しかし、住宅資金に対する贈与であれば一定額非課税で贈与することができます。対象となるのは、親や祖父母などから子や孫に対する贈与。金額は、住宅の性能などにより異なり、省エネ等住宅の場合は1,000万円まで、それ以外は500万円まで。ポイントは、「贈与した金額の全額を住宅購入資金に充てる」という点です。貯蓄に回したり、居住後に贈与したり、住宅ローンの補填に充てたりする場合は、非課税の対象外となります。また、この非課税制度を利用する場合は、必ず確定申告が必要です。

【住宅取得時の贈与税非課税制度】

期間は今のところ

2023年12月まで。

期間延長されるかどうかは、今後の税制改正に注目しましょう。

項目	内容
適用期間	2023年12月末まで
非課税枠	省エネ等住宅1,000万円、一般住宅500万円
贈与者	祖父母、父母など直系尊属
受贈者	18歳以上
受贈者の合計所得	2,000万円以下（床面積40~50㎡未満は1,000万円以下）
住居の要件	40~240㎡以下。2分の1以上が居住用
入居	贈与を受けた翌年3月15日までに入居、12月末まで居住
確定申告	贈与を受けた翌年3月15日までに確定申告が必要



? マネークイズのコーナー

英語、中国語、スペイン語…と様々な言語がありますが、世界にはいくつの言語があるのでしょうか？

- 1 715 言語
- 2 3,151 言語
- 3 7,151 言語



(答えは裏面にあります！)

今月のお知らせ

10月のイベントに、日本にも定着しつつある「ハロウィン」があります。日本では様々なアニメやゲームのキャラクターに仮装している人も多く、アメリカの民間行事というイメージが強いですが、実はアイルランド発祥の宗教行事なのです。自らを魔物の仲間と思わせて身を守るため、魔物に似た仮装をするのが正式なものだったそうです。



コラム

複利効果で効率的に資産を増やす！

「単利」と「複利」というのをご存じですか？利息の付き方には2種類あります。単利とは、「投資元本」に対して利息が付くこと。複利とは、「投資元本+利息」に対して利息が付くことをいいます。例えば、100万円に対して3%の利息が付くとしましょう。単利の場合は毎年3万円の利息が付きます。1年目は103万円、2年目は106万円、3年目は109万円になります。複利の場合はどうでしょうか？複利の場合は、1年目は単利と同じ103万円、2年目は103万円に対して3%利息が付くので106万900円、3年目は106万900円に対して3%利息が付くので109万2727円になります。では、30年後にはどうなるかというところ…？単利190万円に対して、複利は242万7262円となります。投資元本は同じ100万円なので、その差はなんと52万7262円！大きいですね。複利効果は期間が長くなればなるほど大きくなります。資産運用でより効率的に資産を増やしたいなら複利で増やすという考え方はとても大切です。

運用で増えた分は使わずに、運用資金の中に組み入れ運用を続けていく。そうすれば、複利効果を楽しむことができます。

【100万円を3%で運用した場合】

運用期間	単利	複利
1年目	103万	103万
2年目	106万	106万900円
3年目	109万	109万2727円
30年目	190万	242万7262円

※計算を簡易にするため、税金は考慮していません

A

マネークイズの答え

正解：3



なんと、世界には7,151もの言語があるとのこと。そして、そのうち40%は消滅の危機にあるのだそうです。

(出典 Ethnologue)



編集後記

NISAが変わるかも？

貯蓄から投資へのシフトを大胆・抜本的に進め、投資による『資産所得倍増』を実現

NISAの抜本的拡充や個人の預貯金を資産運用に誘導する新たな仕組みの創設など、政策を総動員して『資産所得倍増プラン』を掲げた岸田政権の政策を具体化するため金融庁は、制度の抜本的な刷新を検討しているとのこと。来年度の税制改正要望では、制度の恒久化や非課税限度額の拡大など決定されれば期待大です。

発行

確定拠出年金の導入なら さくらコンフォートライフ

資産運用でご相談のある方は、お気軽にお電話ください。

お問い合わせは090-1238-8418(鈴木)まで！

